



学校だより

# かじま

富士市立富士第一小学校

7月号

令和8年6月18日

校訓  
学校教育目標  
重点目標

強い体 強い心

しなやかに 挑み続ける ～ 聴き、考え、なかまとまえへ ～  
(〇〇)UP!

「あわてずに 余白も必要」

校長 山本 真人

低学年から、中学年、そして高学年になるにしたがって、子どもたちは、めきめきと成長していきます。そのことは、前号のスポーツフェスティバルの話題の中でも紹介をしました。

一方で、子どもたちは学年が上がるにしたがって、様々な(よい意味での)ハードルや、クリアしなければならない出来事が増えていきます。例えば、先日、4年生のすてきな算数の授業を参観しました。4人組のグループ活動では、ある問題を解くための「自分の見つけた方法」を分かりやすく他の3人に伝えます。相手の反応を確認しながら、自分の説明が伝わりにくいと感じたら、途中で別の表現に変えて説明している児童が何人もいました。みんなやさしい温かい言葉遣いでした。なかなかすごい子どもたちです。翌日、5年生の算数の授業も参観しました。先生の説明と学級の児童の発言によって授業が進むのですが、子どもたちは、「聞き・考え」ながら、「ノートに板書を写し」ていきます。ほぼ全員の子どもが、あまり遅れることなく、書き写していました。みんな頑張っています。

これらの子どもたちに共通しているのは、教室が「公(おおやけ)」の場所であり、自分の発信をするときにも、仲間の発信を聞くときにも、周囲を尊重しているということです。

学校でも家庭でも、子どもたちの言葉遣いや、周囲を尊重する態度が大切されているのかを、見守って助言してあげることも必要だと感じます。

そのような中、子どもたちは、ある意味、とても忙しい生活を送っています。子どもたちそれぞれかもしれませんが、子どもたちに「余白」の時間があって、受動的でなく、自ら選択して取り組んでいく時間や機会があればよいなあとも思っています。

いよいよ初夏を迎えます。引き続き、学校の教育活動につきまして、御理解や御協力をお願い申し上げます。(参観日・引き渡し訓練もありがとうございました。)



児童クラブ前の桜の木が、老朽化による倒木の危険性があると判断されたため、伐採しました。第一小の子どもたちの成長を一緒に見守ってきた桜の木。今までありがとう!



## 自然災害が発生したら

先日は引渡し訓練に御参加いただき、ありがとうございました。おかげさまで、雨天時の有事の際の引渡し方法を確認することができました。先月には、気象情報表記に関する表記変更がありました。今後は引き続き「警報」の有無や河川の状況、雲の動き等により登校の判断をまいります。今一度、自然災害発生時にどのような行動をするのか、御家庭でも確認していただく機会となったら幸いです。

新たな防災気象情報について(令和8年～)

令和8年5月29日より  
気象の警報などが大きく変わりました

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 冠水特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 冠水危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 冠水警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 冠水注意警報	レベル2 大雨注意警報	レベル2 土砂災害注意警報	レベル2 高潮注意警報
警戒レベル1	早期注意情報			

## いっしょの一小 えがおの一小 アルバム



### 3年 福祉体験

総合的な学習の時間に、高齢者の身体を模擬体験できるものを身に付けて校内を歩きました。「見えにくくて階段が怖い。」「うまく足が上がらない。」と、自らが体感したからこそ感じられた気づきを学習に生かしていく3年生でした。



### 4～6年 クラブ活動

他学年と交流したり、地域の人と一緒に活動したりしています。



## SC (スクールカウンセラー)、SSW (スクールソーシャルワーカー)

SC

加藤 陽子さん

心理的なアプローチで  
心の健康や感情面をサポート!



SSW

明石 礼子さん

社会福祉の専門性をもち、  
子どもを取り巻く環境をサポート!



5月6月は、気持ちが不安定になりやすいものです。学校には、教員以外にも子どもの不安や心配を一緒に考えてくれる心強い味方がいます。一度、お話してみませんか? 希望される場合は、4月24日配付のおたよりや連絡帳で知らせてください。1回40分程度です。